

親と子で読む学年だより

3年 No.16 R1.11. 8

学年目標「誰からも応援される人になろう！」

～素 敵 な 人 に な る う～

～卒業式を感動の涙でいっぱいになろう～

【すばらしい歌声をありがとう・・・！】

中学校生活最後の文化発表会を最高のものにしようと、3年生は運動会が終わった直後から本格的に合唱に取り組みはじめました。クラスの合唱練習ではパート練習を徹底的に行い、音を取ろうと必死になっていました。練習を始めて数日がたった頃から徐々に全体練習に切り替え、強弱や感情の込め方などに気を配りながら限られた時間の中で、世界に1つだけのハーモニーを創り上げることができました。その成果が保護者の方々にも見ていただいた本番のあの合唱です。

まさに、3年生の皆さんは彩り鮮やかな「花」を咲かせることができました。金賞は3組が獲得し、運動会のムカデリレー・全員リレーと併せて3冠達成という結果でしたが、3クラスの合唱もとても仕上がり具合あがよく、今まで最高の合唱を披露することができました。審査をしていた先生方からは「とても悩まされたよ」という声も聞かされました。

ここで、各クラスの指揮者と伴奏者の感想を紹介します。

3年1組 指揮者 牧野 葵

私たちクラスは金賞は獲れませんでした、とても良い合唱を創ることができたと思います。こんな良い合唱を創ることができたのは3年1組のみんなのお陰だと思っています。一人一人が練習をまじめに行い、文句も言わず私が注意したことをすぐに直してくれたからだと思います。本当にありがとうございました。これから受験が迫ってきます。クラスで受験の雰囲気をつくり、みんなで乗り越えていきたいです。



3年1組 伴奏者 鈴木紗英

中学校最後の文化発表会を通して、クラスが1つの目標に向かって練習から頑張ることができました。金賞は獲れなかったけどそれ以上のものを得ることができたと思います。そして運動会と合わせた行事でさらにクラスの絆が深まったので、これからある受験に向かって全員で頑張り、最高の卒業式を迎えられるようにしたいです。

3年2組 指揮者 塩川隆太

この文化発表会を通して得たものは、団結力だと思います。僕たちのクラスは合唱が得意な人が得意でない人を引っ張り、少しずつ金賞へと近付いていきました。しかし、あと一歩のところまで金賞を逃してしまい3年2組全員が悔しい思いをしました。その中で、仲間達に対する感謝の気持ちと努力に比例した達成感に気付きました。卒業式を涙でいっぱいにするためや、過去の緊張ばかりしていた自分を超すために、日々の生活からより良いものにしていきたいです。



3年2組 伴奏者 渡井未梨

文化発表会では、伴奏が少しずれてしまいましたが、最後まで弾くことができたので良かったです。そして、みんな練習以上に頑張っていて今までで一番良い合唱ができました。次は受験に向けて勉強を熱心にやっていきたいです。

【保護者の皆様へ・・・！】

文化発表会をご覧になったの感想をお書きください。また、日頃から感じられているお子様のことや、進路を決定させるまでの質問事項や進路相談などを御記入ください。

キ リ ト リ

生徒氏名 3年 組 番 氏名 () 記入者氏名 () NO.16

3年3組 指揮者 遠藤慎大

文化発表会を終えて僕は、クラス全員をまとめることができたと思います。練習では上手くいかないところがたくさんありました。でも、合唱リーダーやパートリーダーを中心に本番まで必死に練習をしました。指揮者として歌の強弱を特に意識して指揮をしました。本番でも強弱をはっきりさせて歌うことができたので金賞を獲ることができました。クラスのみんなにはとても感謝しています。

3年3組 伴奏者 澤田綺羅

今までで一番良い合唱ができ、金賞を獲ることができて本当に良かったです！3組のみんなが日々の練習から一生懸命取り組んでくれたり、呼び掛けをしたりして頑張ってくれたお陰だと思います。本当にありがとうございました。運動会と併せて二大行事を通して学んだことを活かして残り少ない中学校生活も頑張りたいです。



3年4組 指揮者 太田遼大

4組は金賞ではなかったものの、それぞれが全力を出し合い最高の合唱を披露できたと思っています。そして僕も失敗はしてしまいましたが、4組の合唱の指揮者になることができたことを誇りに思います。熱心に指導してくださった寛治先生と練習を手伝ってくれた真理子先生に感謝を伝えたいです。



3年4組 伴奏者 渡井杏梨

私たちクラスの目標であった金賞を獲ることはできなかったけど、全員で協力して中学校生活最後の文化発表会で一番良い合唱ができ、その伴奏ができてとても楽しかったです。また、学年合唱の群読では、入学してから合唱への思いを家族や後輩に伝え、感動を与えることができたと思います。しかし、文化発表会が終わったからといって合唱練習を適当に行ってはいけません。卒業まで三中生として伝統である合唱を守っていきましょう。

[授業参観・進路説明会 ありがとうございます・・・！]

本日は、授業参観および進路説明会のため三中へ来校していただき、ありがとうございます。これから12月に入ると、進路先を決定する上で大切に慌ただしい日々が続きます。各ご家庭では今のうちに、進路について何度も話し合いを行っていただきたいと思います。

<これから受検までの間、大切にしたいことを書き上げてみます。参考にしてください。>

- ・受検校を決定させるための話し合いの時に注意してもらいたいことは、「高校に入る時のことだけを考えるのではなく、高校卒業後もしくは10年20年後の姿を思い浮かべながら決定させてほしい」と思います。
 - ・進路を決定させるために三中では「生徒と担任の先生」の二者面談を何度も行います。生徒はその結果を家にもち帰って「生徒と保護者」で話し合ってもらいたいと思います。そのようなことが行われますので、生徒の皆さんは学校と家庭のパイプ役をしてください。
 - ・家庭では子どもが何でも相談できるような雰囲気をつくっていただきたいと思います。
 - ・家庭で相談していく中で、疑問に思ったことや確認したいことがありますたら、とにかく学級担任もしくは三中教員に聞いてみてください。
- 勝手な判断をしたり憶測で話を進めたりすることはとてもよくないことです。**
- ・自分の思いや進路に関する考えを担任の先生や親に「言ったつもり」になっている状況もよくないことです。何度も確認の意味で自分の思いを伝えましょう。
 - ・進路説明会の時の資料にある通り、願書や入試関係の書類の手続き的なことでの間違いは絶対にないように心掛けましょう。
 - ・「受検は団体戦」です。自分だけが良ければいいのではないのです。自分が合格すればそれでOKではないのです。最後の一人が合格するまで、みんなで戦いましょう。
 - ・健康管理にも気を遣いましょう。風邪やインフルエンザに罹らないように努力することはもちろんですが、もし自分が罹ってしまったとき無理をしないで早めに休むことも重要です。健康管理に関しても「団体戦」なのです。周りのことに気を遣うこともしていきましょう。
 - ・一番気をつけていただきたいのは、部活動がらみの話です。時々、「〇〇高校の〇〇部の先生から大丈夫って言われました」という話を生徒や保護者の方から耳にします。ですが、そのような話は正式なものではありません。私立高の部活動に関しての正規のルートは「相手高校の校長先生と三中の校長先生」とが話をして初めて成立するものです。公立高での受検で部活動という自分の強みを活かす方法は、「裁量枠受検」のみです。周りからの言葉に惑わされることのないようにしましょう。

